

2013（平成25）年度 自動車部品工業の経営動向

一般社団法人 日本自動車部品工業会

一般社団法人日本自動車部品工業会は、平成26年5月1日現在での会員企業446社のうち、上場企業で自動車部品の売上高比率が50%以上、かつ前年同期比較が可能な自動車部品専門企業82社の平成25年度の経営動向を各社の連結決算短信（※連結決算を行っていない企業は単独決算）により集計・分析した。

<経済全体の状況>

平成25年度の世界経済は、米国では景気の回復基調が継続、欧州の一部では景気を持ち直しが見られた。新興国の一部では成長の鈍化があるものの、世界全体では緩やかな回復となった。

日本経済は、政府・日銀による大規模な金融・財政政策の効果や、円安による企業収益の拡大、設備投資の持ち直しが見られ、緩やかな回復基調で推移した。

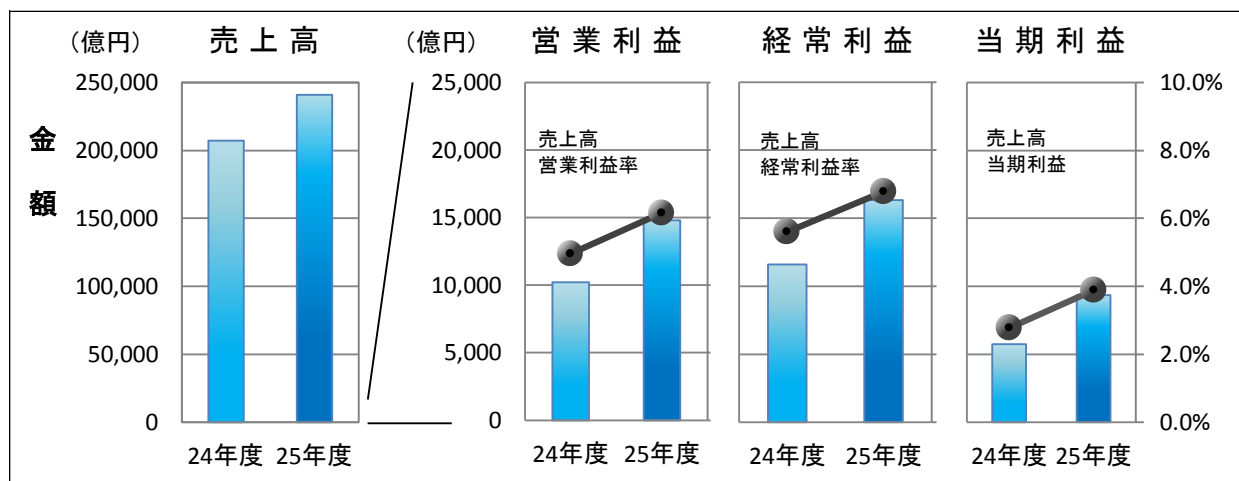
自動車セクターは前年のエコカー補助金制度の終了による反動減があったものの、魅力ある新型車の投入・モデルチェンジ効果や消費税の引き上げを控えた需要拡大により、年度では販売台数は回復した。

<部品メーカーの状況>

自動車部品メーカー82社の平成25年度の業績は、以下のとおりとなった。

（単位：億円）

	24年度	25年度	前年同期差	前年同期比
売上高	207,199	240,951	33,752	+16.3%
営業利益	10,222	14,804	4,582	+44.8%
売上高営業利益率	4.9%	6.1%	1.2pt	—
経常利益	11,601	16,335	4,734	+40.8%
売上高経常利益率	5.6%	6.8%	1.2pt	—
当期利益	5,744	9,354	3,610	+62.8%
売上高当期利益率	2.8%	3.9%	1.1pt	—



売上高については、好調な海外事業と為替の影響、消費税の引き上げを控えた駆け込み需要によりエコカー補助金・減税の効果が見られた前年同期に比べても、16.3%の増収となった。売上高が年間で24兆円を超えるのは、調査対象企業82社としての比較が可能な平成20年度以降初めて。

この結果、全体としては前年同期に対して営業利益以下全ての項目で増益となった。なお、中間期時点で31社あった「営業利益ベースでの減益企業」が通期では8社に減少した。各社の増益・減益要因を分析すると、増益要因としては「好調な海外需要」や「為替差益」「消費増税前の駆け込み需要」が、減益要因としては「軽自動車の伸長等、車種別製品構成の変化による付加価値額の低下」「海外での新規拠点の立ち上げによる費用負担増」が挙げられる。

(P. 4)

収益構造を見ると、各社の企業努力による売上原価率の低下により利益率が上昇した。また、為替差益が営業外収益の増加に貢献した。

(P. 6)

以下は決算短信で地域別セグメント情報を記載している47社(売上高ベースで全体の70.9%)での数値となるため、あくまでも参考情報としての位置づけとなるが、国内は売上増収増益、北中南米は自動車販売の好調と実稼働率の向上により売上・利益が回復している。

欧州も5四半期連続で売上がプラスを維持しており底打ち感がある。アジアについても増収増益であるが、利益率の面では2ケタを切る状態が、平成23年度第1四半期以降12四半期間続いている。これはアジア地域全般での労務費の上昇、競争の激化等が影響していると考えられる。ただし中長期的には需要の拡大が見込まれるため、日系企業にとってアジア市場はなお重要な収益源であり続けている。

(P. 6)

借入金依存率については、14.8%となり、前年同期の15.6%から比較して0.8ポイント下がった。ただし、過去10年間で最も低かった平成17年度では12.5%であり、それとの比較では依然として2.3ポイント高い水準にある。

(P. 7)

設備投資の動向を見ると、有形固定資産取得のための支出は前年同期に比べ15.4%増加した。減価償却費については、11.1%増加した。

(P. 7)

平成 26 年度通期の各社の業績見通しについては、年度全体では 25 年度実績に対して売上高・営業利益は微増、経常利益・当期利益はやや減少するとの予測であるが、赤字を予測する会社はない。

これは、為替レートの安定的推移を前提としながらも厳しめにみている企業が多いことや、消費増税前の駆け込み需要からの国内市場の反動減、労務費の上昇などの影響が織り込まれているためだと考えられる。消費税増税の影響については「4 月は駆け込み需要の受注残があり登録ベースでは大きな落ち込みはなかったが、店頭受注ベースでは明らかに落ちている」との情報もあり、引き続き注視していく必要がある。

26 年度については、タイの政情不安やブラジルの暴動等、従来以上に海外の景気動向を注視すると共に、国内においては消費増税後の景気動向の見極めと、積極的な政策対応に期待したい。ここ数四半期に渡り為替変動や国の政策に惹起される要因による需要変動の影響を大きく受けており経営上のリスク要因となっている。自動車市場の安定的成長が望ましい。 (P. 8)

自動車部品工業の経営動向【数値情報】

—主要上場企業82社 平成25年度 連結決算状況—

1. 対象企業

平成25年4月から平成26年3月までに決算期のある正会員上場企業で、売上高に占める自動車部品比率が50%以上の企業82社を対象とした。

2. 経営分析の方法

各社の連結決算短信（連結決算を行っていない企業は単独決算短信）による。

3. 決算状況

(1) 全体集計結果〔再掲〕

(単位：億円)

	24年度	25年度	前年同期差	前年同期比
売上高	207,199	240,951	33,752	+16.3%
営業利益	10,222	14,804	4,582	+44.8%
売上高営業利益率	4.9%	6.1%	1.2pt	—
経常利益	11,601	16,335	4,734	+40.8%
売上高経常利益率	5.6%	6.8%	1.2pt	—
当期利益	5,744	9,354	3,610	+62.8%
売上高当期利益率	2.8%	3.9%	1.1pt	—

(補足) 25年度での増減

	増加		減少		合計	
	社数	(赤字)	社数	(赤字)	社数	(赤字)
売上高	81社	—	1社	—	82社	—
営業利益	74社	(1)	8社	(0)	82社	(1)
経常利益	73社	(1)	9社	(0)	82社	(1)
当期利益	63社	(0)	19社	(3)	82社	(3)

※赤字幅が縮小した場合は「増加」、赤字幅が拡大した場合は「減少」に含める

※()内は、赤字計上会社数

① 売上高と営業利益の動向

		営 業 利 益					
		増 益		減 益		計	
売 上 高	増 収	7 3 社	(89.0 %)	8 社	(9.8 %)	8 1 社	(98.8 %)
	減 収	1 社	(1.2 %)	0 社	(0.0 %)	1 社	(1.2 %)
	計	7 4 社	(90.2 %)	8 社	(9.8 %)	8 2 社	(100 %)

※ () 内は構成比

② 売上高と経常利益の動向

		経 常 利 益					
		増 益		減 益		計	
売 上 高	増 収	7 2 社	(87.8 %)	9 社	(11.0 %)	8 1 社	(98.8 %)
	減 収	1 社	(1.2 %)	0 社	(0.0 %)	1 社	(1.2 %)
	計	7 3 社	(89.0 %)	9 社	(11.0 %)	8 2 社	(100 %)

※ () 内は構成比

③ 売上高と当期利益の動向

		当 期 利 益					
		増 益		減 益		計	
売 上 高	増 収	6 3 社	(76.8 %)	1 8 社	(22.0 %)	8 1 社	(98.8 %)
	減 収	0 社	(0.0 %)	1 社	(1.2 %)	1 社	(1.2 %)
	計	6 3 社	(76.8 %)	1 9 社	(23.2 %)	8 2 社	(100 %)

※ () 内は構成比

(2) 収益構造

科 目	24 年度		25 年度				
	金額(億円)	構成比	金額(億円)	前年同期差	前年同期比	構 成 比	構成変化
売 上 高	207,199	100.0 %	240,951	33,752	+ 16.3 %	100.0 %	±0.0 %
売 上 原 価	177,524	85.7 %	203,520	25,996	+ 14.6 %	84.5 %	- 1.2 %
販売費及び一般管理費	19,453	9.4 %	22,627	3,174	+ 16.3 %	9.4 %	±0.0 %
営 業 利 益	10,222	4.9 %	14,804	4,582	+ 44.8 %	6.1 %	+ 1.2 %
営業外収益	2,494	1.2 %	2,778	284	+ 11.4 %	1.2 %	±0.0 %
営業外費用	1,115	0.5 %	1,247	132	+ 11.8 %	0.5 %	±0.0 %
経 常 利 益	11,601	5.6 %	16,335	4,734	+ 40.8 %	6.8 %	+ 1.2 %
特別利益	345	0.2 %	531	186	+ 54.1 %	0.2 %	±0.0 %
特別損失	1,503	0.8 %	1,225	-278	- 16.7 %	0.5 %	- 0.3 %
税金等調整前当期利益	10,443	5.0 %	15,641	5,198	+ 49.8 %	6.5 %	+ 1.5 %
当 期 利 益	5,744	2.8 %	9,354	3,610	+ 62.8 %	3.9 %	+ 1.1 %

(3)【参考情報】所在地別の売上高、利益の状況(注1)

(単位：億円)

		売上高	前年同期比	営業利益	前年同期比	利益率	前年同期利益率
日 本		95,183	+ 5.3 %	6,652	+ 40.9 %	7.0 %	5.2 %
海 外	北中南米	39,433	+ 31.5 %	702	+ 38.8 %	1.8 %	1.7 %
	欧 州	13,953	+ 34.0 %	257	4.3 倍	1.8 %	0.6 %
	ア ジ ア	40,606	+ 29.5 %	3,314	+ 29.4 %	8.2 %	8.2 %
	分類不可等	2,315	+ 14.0 %	66	-15.9 %	2.9 %	3.9 %
(消去)		-20,633	—	-260	— %	— %	— %
合 計		170,857	+ 16.0 %	10,731	+ 38.2 %	6.3 %	5.3 %

(注1) 各社の発表内容に差が大きく、地域別業績を発表しない企業（35 / 82 社）が増えたため所在地別の売上・利益については、47 社での傾向値として掲載。

(注2) 今回の集計全体の 70.9 %。（売上高ベース）

(4)借入金依存率の動向

	24年度	25年度	前年度比(*差)
短期借入金(億円)	11,352	11,318	-0.3%
長期借入金(億円)	14,467	16,463	13.8%
社債(億円)	3,523	3,865	9.7%
負債純資産合計(億円)	187,730	214,287	14.1%
借入金依存率(%)	15.6%	14.8%	-0.8Pt*

(5)【参考情報】設備投資の動向

(設備投資と関係の深い有形固定資産取得のための支出額、減価償却費を集計)

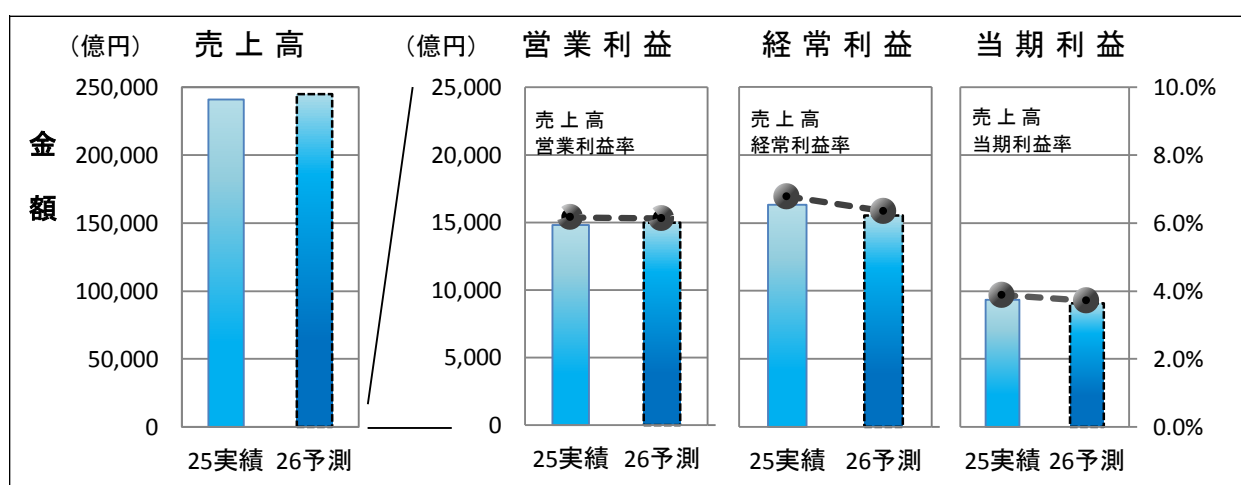
	24年度	25年度	前年度比
有形固定資産取得のための支出額(億円)	12,618	14,564	15.4%
減価償却費(億円)	9,591	10,656	11.1%

4. 平成 26 年度の業績見通し

(1) 全体の業績見通し(対前年度)

(単位：億円)

	25 年度実績	26 年度見通し	前年度差	前年度比
売上高	240,951	244,898	3,947	+1.6%
営業利益	14,804	14,976	172	+1.2%
売上高営業利益率	6.1%	6.1%	0.0pt	—%
経常利益	16,335	15,546	-789	-4.8%
売上高経常利益率	6.8%	6.3%	-0.5pt	—%
当期利益	9,354	9,096	-258	-2.8%
売上高当期利益率	3.9%	3.7%	-0.2pt	—%



(2) 全体の業績動向見通し

	25 年度実績						26 年度見通し					
	増加		減少		合計		増加		減少		合計	
売上高	81社	—	1社	—	82社	—	59社	—	23社	—	82社	—
営業利益	74社	(1)	8社	(0)	82社	(1)	55社	(0)	27社	(0)	82社	(0)
経常利益	73社	(1)	9社	(0)	82社	(1)	36社	(0)	46社	(0)	82社	(0)
当期利益	63社	(0)	19社	(3)	82社	(3)	39社	(0)	43社	(0)	82社	(0)

※赤字幅が減少する場合は「増加」、赤字幅が拡大する場合は「減少」に含める。

※ () 内は赤字 [26 年度は赤字予測] 会社数

(3)全体の業績動向見通し(売上高と営業利益の動向)

		営 業 利 益					
		増 益		減 益		計	
売 上 高	増 収	4 7 社	(57.3 %)	1 2 社	(14.6 %)	5 9 社	(72.0 %)
	減 収	8 社	(9.8 %)	1 5 社	(18.3 %)	2 3 社	(28.0 %)
	計	5 5 社	(67.1 %)	2 7 社	(32.9 %)	8 2 社	(100 %)

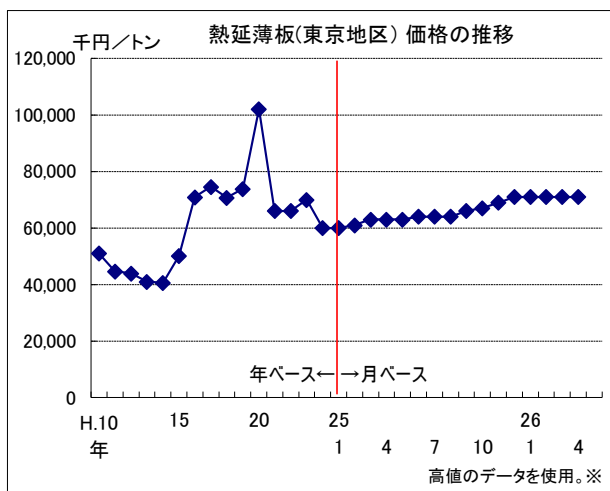
※ () 内は構成比

以 上

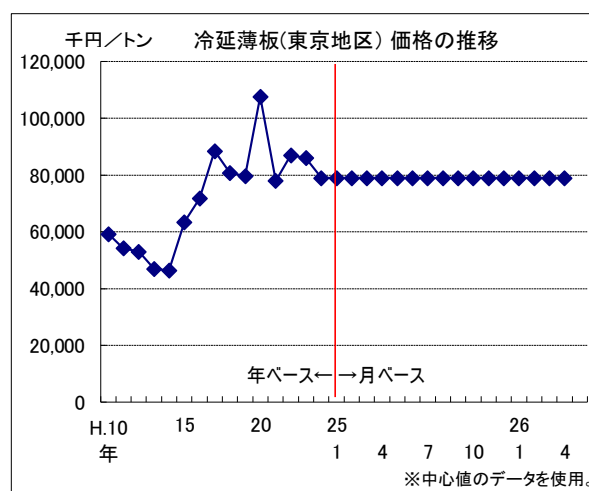
主要原材料価格の動向

一般社団法人 日本自動車部品工業会

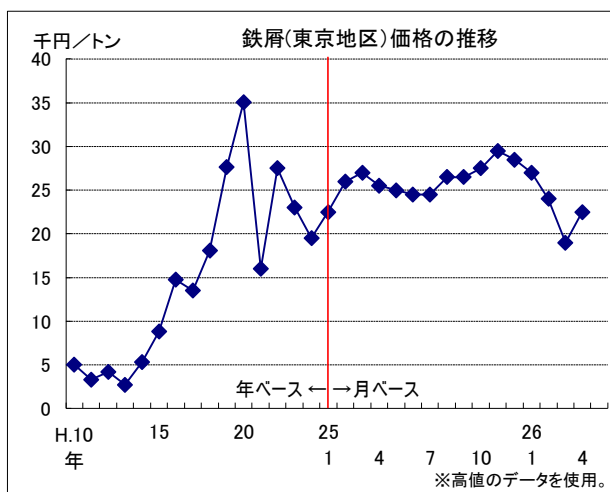
1. 熱延薄板



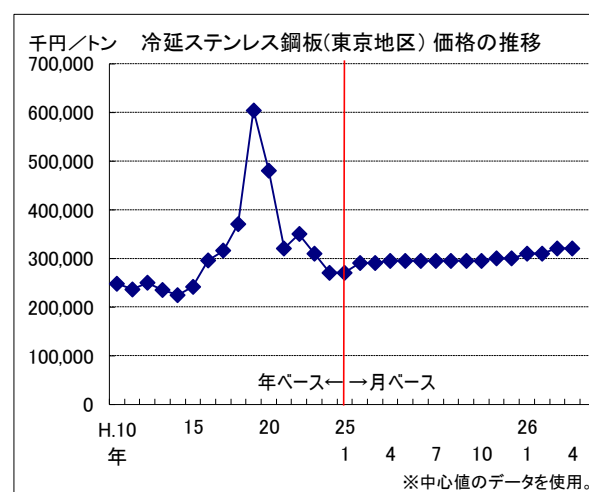
2. 冷延薄板



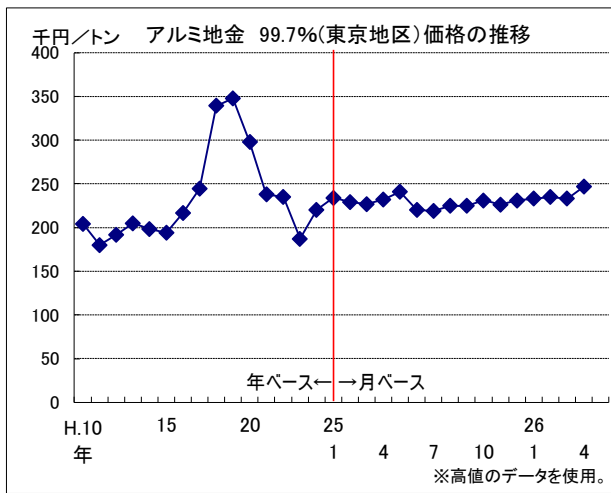
3. 鉄屑(特級H2)



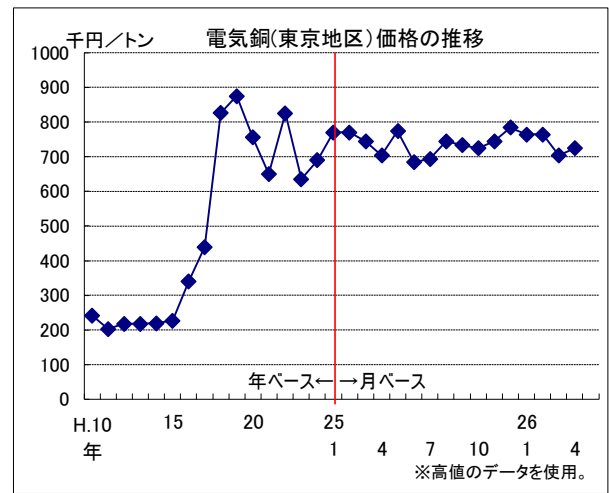
4. ステンレス



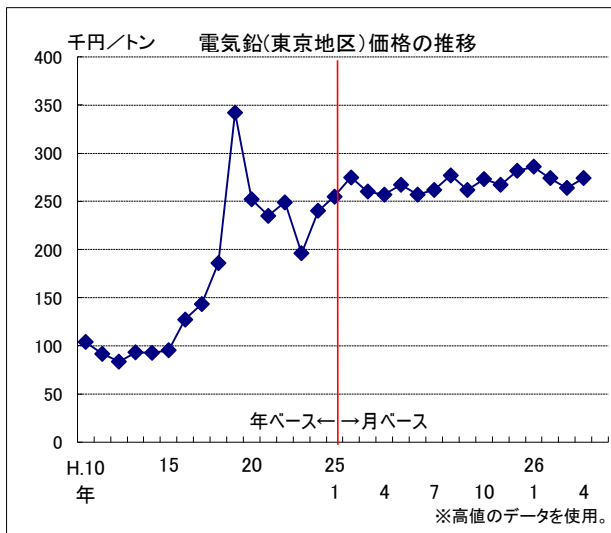
5. アルミニウム



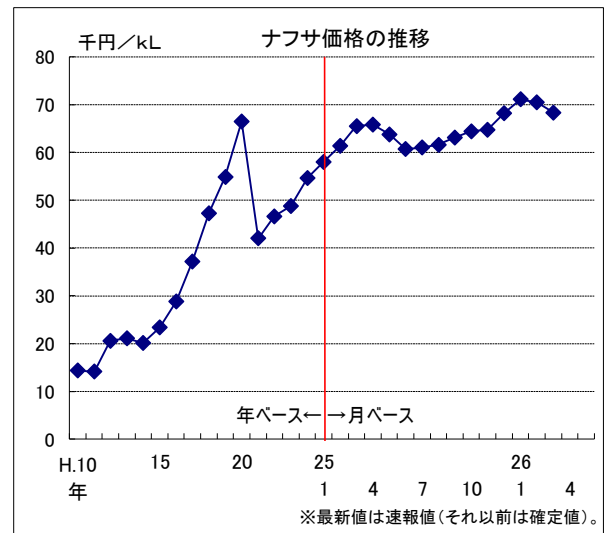
6. 銅

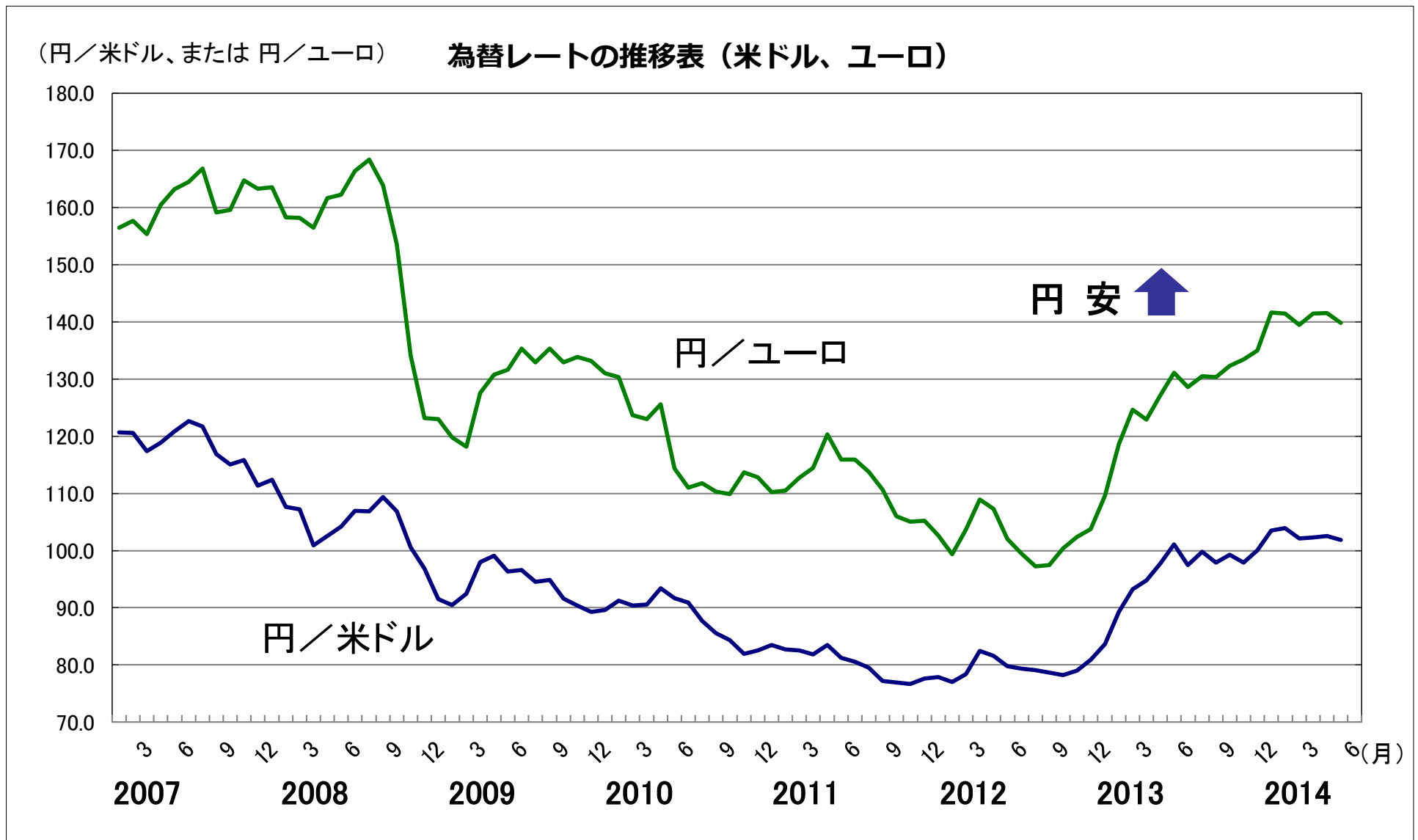


7. 鉛



8. ナフサ





(備考) 円・ドル、円・ユーロとも月中平均データ(みずほ銀行「外国為替公示相場ヒストリカルデータ」より)。

タイ、中国の為替動向

	円/タイバーツ	円/中国元
2007年	3.72	15.25
2008年	2.61	13.38
2009年	2.70	13.12
2010年	2.78	12.54
2011年	2.50	12.30
2012年	2.73	13.46
2013年	3.20	17.04
2014年1月	3.16	17.23
2014年2月	3.13	16.87
2014年3月	3.16	16.61
2014年4月	3.18	16.49
2014年5月	3.13	16.32

レートは公示相場(仲値)、月中平均値。
みずほ銀行「外国為替公示相場ヒストリカルデータ」より